

令和3年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) (国補) ・ 県単

事業名		畑地帯総合整備事業（国補）		事業箇所	笛吹市御坂町下黒駒	地区名	黒駒西	事業主体	山梨県																																					
計画期間	当初計画	現計画	変更計画	(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕 (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)																																										
	H23~H31	H23~R4	H23~R5																																											
総事業費	2,185 百万円	2,577 百万円	2,552 百万円	①地域・住民の意向状況																																										
(1) 事業の概要				<p>地域内には事業着手以降、消費者から評価の高いシャインマスカット等の高収益作物への転換を図る農業者が増えてきた。 これまで、区画整理の換地計画等の推進を行ってきたが、相続登記未了の土地交渉等に時間を要したことで、転換がさらに進み、既に安定的な生産が開始されていることから、区画整理の必要性は十分理解しつつも計画期間内での実施はむずかしいとの意見も多い。</p> <p>②産業・経済情勢 なし</p> <p>③国等の方針 なし</p> <p>④上位計画・関連事業計画等 ・やまなし農業基本計画(令和元年12月策定)</p> <p>⑤自然環境条件等 なし</p> <p>⑥その他 なし</p>																																										
①事業目的及び効果																																														
<p>本地区は甲府盆地の南東部に位置し、もも・ぶどうを基幹作物とした農業が営まれている県内有数の果樹産地である。しかしながら、地域内の農道は幅員が狭く、農作業車両の乗り入れが困難であることから、機械作業の導入が進まず人力作業を中心とした営農体系となっていた。また、地区内は排水条件の悪い箇所が多いことから、農作物に湿害が発生するなどの品質の低下を招いており、安定的な果樹生産に支障が生じていた。</p> <p>このため農作業の効率化や省力化に向けて、営農条件の改善を図るとともに、高品質な果樹生産の維持、拡大に取り組むことを目的として事業を実施した。</p> <p>□主要目標 ○農業生産力向上 (面積当たりの農業所得増加額：753千円/ha ≥ 405千円/ha)</p> <p>□副次目標 ○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上、農業用排水能力の向上 ○遊休農地の解消、重要プロジェクトとしての位置づけ、 果樹園景観の保全</p>																																														
②事業概要																																														
現計画		変更計画								現計画		変更計画																																		
用排水路	L=1,940m → L=1,637m	区画整理	A= 21.4ha → A= 7.6ha							用排水路	L= 303m	区画整理	A= 16.9ha	用排水路	L= 303m																															
農道	L=8,823m → L=7,537m	鳥獣害防止施設	L=3,700m → L=3,700m							農道	L=5,982m	鳥獣害防止施設	L=2,942m	農道	L=2,711m																															
③全体計画										(3) 評価項目〔評価時点の費用対効果分析〕																																				
		令和2年度まで	令和3年度 (評価実施年度)									令和4年度以降																																		
現計画	工事内容	用排水路 L=1,637m 農道 L=5,982m 区画整理 A= 3.9ha 鳥獣害防止施設 L=2,942m	農道 L=130m 区画整理 A=0.6ha							用排水路 L= 303m 農道 L=2,711m 区画整理 A= 16.9ha 鳥獣害防止施設 L=758m	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>着手時点</th> <th>変更計画時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>2,185 百万円</td> <td>2,552 百万円</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H23~H31</td> <td>H23~R5</td> </tr> <tr> <td>評価基準年</td> <td>H22</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">費用</td> <td>1,965 百万円</td> <td>2,649 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>1,965 百万円</td> <td>2,649 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">便益</td> <td>4,473 百万円</td> <td>3,601 百万円</td> </tr> <tr> <td>作物生産効果</td> <td>497 百万円</td> <td>748 百万円</td> </tr> <tr> <td>品質向上効果</td> <td>503 百万円</td> <td>703 百万円</td> </tr> <tr> <td>走行経費削減効果</td> <td>2,370 百万円</td> <td>1,901 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他※</td> <td>1,103 百万円</td> <td>249 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td>2.3</td> <td>1.4</td> </tr> </tbody> </table>					項目	着手時点	変更計画時点	総事業費	2,185 百万円	2,552 百万円	工期	H23~H31	H23~R5	評価基準年	H22	R3	費用	1,965 百万円	2,649 百万円	建設費	1,965 百万円	2,649 百万円	便益	4,473 百万円	3,601 百万円	作物生産効果	497 百万円	748 百万円	品質向上効果	503 百万円	703 百万円	走行経費削減効果	2,370 百万円	1,901 百万円	その他※
		項目	着手時点	変更計画時点																																										
総事業費	2,185 百万円	2,552 百万円																																												
工期	H23~H31	H23~R5																																												
評価基準年	H22	R3																																												
費用	1,965 百万円	2,649 百万円																																												
	建設費	1,965 百万円	2,649 百万円																																											
便益	4,473 百万円	3,601 百万円																																												
	作物生産効果	497 百万円	748 百万円																																											
	品質向上効果	503 百万円	703 百万円																																											
	走行経費削減効果	2,370 百万円	1,901 百万円																																											
	その他※	1,103 百万円	249 百万円																																											
B/C		2.3	1.4																																											
事業費	2,209 百万円	42 百万円	326 百万円																																											
変更計画	工事内容	用排水路 L=1,637m 農道 L=5,982m 区画整理 A= 3.9ha 鳥獣害防止施設 L=2,942m	農道 L=130m 区画整理 A=0.6ha	用排水路 L= 0m 農道 L=1,425m 区画整理 A= 3.1ha 鳥獣害防止施設 L= 758m																																										
		事業費	2,209 百万円	42 百万円	301 百万円																																									

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

④特記事項（関連事業概要等）
・なし

⑤これまでの評価状況（平成22年度事前評価）
本事業は、産地間競争の激化や農業生産性低下などの本事業地域の抱える問題に対処するため、基盤整備による農作業の効率化、観光型農業の取組みによる農業経営の安定化を図る上で必要な事業であり、実施が妥当である。

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上
※その他は、営農経費削減効果、維持管理費節減効果の合計。

2. 評価シート

<p>(4) 評価項目 [これまでの計画変更等の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> シカ、イノシシ等の野生獣による果樹被害範囲の拡大に伴い鳥獣害防止施設の事業費、事業量が増となった。また、この事業推進に期間を要し工期を平成31年度から令和4年度へ延長した。 農道路線内の橋梁箇所において、河川の排水流域等の精査に伴い橋梁及び河川護岸構造物を適正な規模としたことから事業費が増となった。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">当初</td> <td></td> <td style="text-align: center;">現計画</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td style="text-align: right;">2,185百万円</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: right;">2,577百万円</td> </tr> <tr> <td>鳥獣害防止施設</td> <td style="text-align: right;">L=1,500m</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: right;">L=3,700m</td> </tr> </table>		当初		現計画	事業費	2,185百万円	→	2,577百万円	鳥獣害防止施設	L=1,500m	→	L=3,700m	<p>④事業期間の変更理由及び進捗予定</p> <p>区画整理実施予定（5工区）の換地計画において、相続登記未了の土地交渉が難航し遅れが生じていたが、相続人との交渉に見通しがついたことから計画期間を1年延長し、令和5年度の完成を目指したい。</p> <p>⑤今後の事業執行における留意点 なし</p>			
	当初		現計画													
事業費	2,185百万円	→	2,577百万円													
鳥獣害防止施設	L=1,500m	→	L=3,700m													
<p>(5) 評価項目 [事業進捗状況及び見込み]</p>	<p>(6) 評価項目 [環境負荷等への配慮]</p> <p>区画整理の一部では、現地発生材を利用し、良好な農村景観の保全に配慮した施工を行っている。</p>															
<p>①進捗率 別表のとおり。 R3年度進捗率（現計画）87.4%→（実績）87.4%→（変更計画）88.2%</p> <p>②進捗率実績が計画と相違している理由 高収益作物の導入など営農計画に即した換地計画の検討に期間を要した。</p>	<p>(7) 評価項目 [コスト縮減の可能性]</p> <p>なし</p>															
<p>③総事業費の変更内容</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>変更工種等</th> <th>事業費増減</th> <th>変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区画整理</td> <td>93 百万円 の減</td> <td>消費者から評価の高い高収益作物への転換が行われ、既に安定的な生産が開始されている計画箇所については、今回の区画整理対象から除外したため。</td> </tr> <tr> <td>農道</td> <td>46 百万円 の増</td> <td>既設利用とした区間の事業量減に伴う事業費の減。また、既設の路側構造物を活用する計画であったが、詳細調査の結果、路側構造物として不安定なため、新たな路側構造物の整備に伴う事業費の増。</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>22 百万円 の増</td> <td>既設石積みを利用する計画であったが、石積みの老朽化が著しいため、新たな土留構造物の整備に伴う事業費の増。</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25 百万円 の減</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	変更工種等	事業費増減	変更理由	区画整理	93 百万円 の減	消費者から評価の高い高収益作物への転換が行われ、既に安定的な生産が開始されている計画箇所については、今回の区画整理対象から除外したため。	農道	46 百万円 の増	既設利用とした区間の事業量減に伴う事業費の減。また、既設の路側構造物を活用する計画であったが、詳細調査の結果、路側構造物として不安定なため、新たな路側構造物の整備に伴う事業費の増。	用排水路	22 百万円 の増	既設石積みを利用する計画であったが、石積みの老朽化が著しいため、新たな土留構造物の整備に伴う事業費の増。	合計	25 百万円 の減		<p>(8) 評価項目 [代替案立案の可能性]</p> <p>なし</p> <p>(9) 所管部の今後の方針 継続・<u>見直し継続</u>・その他（ ）</p> <p>(理由)</p> <p>地区内の通作や作物を出荷拠点へ輸送するための農道整備を実施することによって作業効率が向上するなど、安定的な果樹生産に向け一定の事業効果が発現されているところである。 今後、残された路線を整備し、果樹産地の強化に必要な道路網を完成することで更なる事業効果が見込まれる。地域からの整備要望も強いことから、果樹生産の強化を図り、農業経営の安定化を実現するため、事業を継続し令和5年度の完成を目指す。</p>
変更工種等	事業費増減	変更理由														
区画整理	93 百万円 の減	消費者から評価の高い高収益作物への転換が行われ、既に安定的な生産が開始されている計画箇所については、今回の区画整理対象から除外したため。														
農道	46 百万円 の増	既設利用とした区間の事業量減に伴う事業費の減。また、既設の路側構造物を活用する計画であったが、詳細調査の結果、路側構造物として不安定なため、新たな路側構造物の整備に伴う事業費の増。														
用排水路	22 百万円 の増	既設石積みを利用する計画であったが、石積みの老朽化が著しいため、新たな土留構造物の整備に伴う事業費の増。														
合計	25 百万円 の減															

○別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100

単位：%

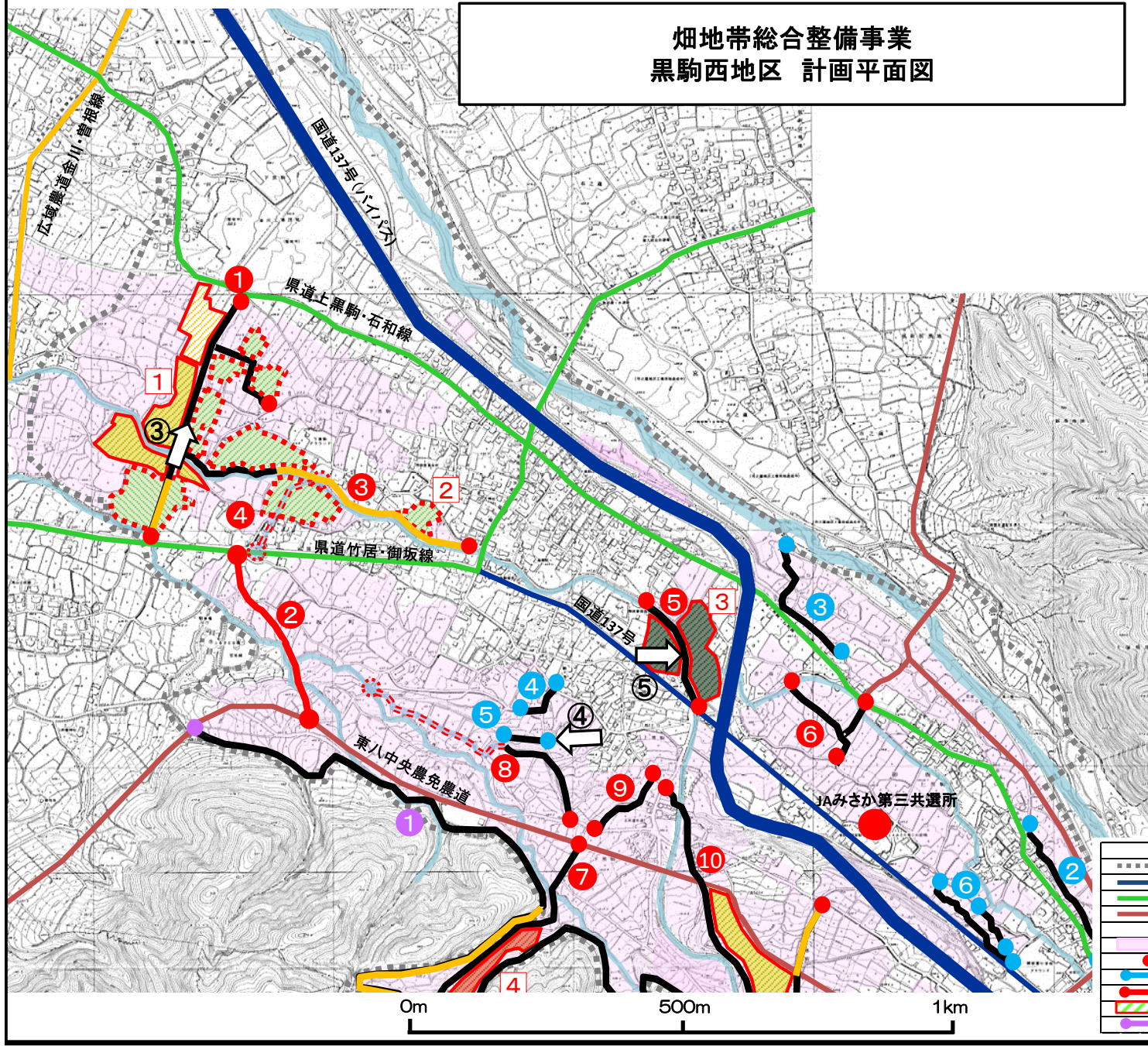
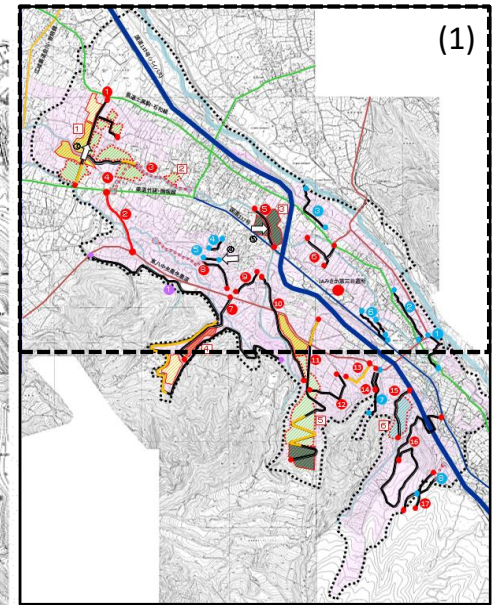
	年度	*H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	*R3	R4	R5
現	計画	1.6	16.3	24.9	35	47.3	52.2	57.9	67.6	79.6	85.7	87.4	100	
	実績	1.6	16.3	24.9	35	47.3	52.2	57.9	67.6	79.6	85.7	87.4		
変更計画												88.2	96.5	100.0

*事業着手年度又は評価年度

*R3年度の実績は見込み

3.添付資料シート(1)

畑地帯総合整備事業 黒駒西地区 計画平面図

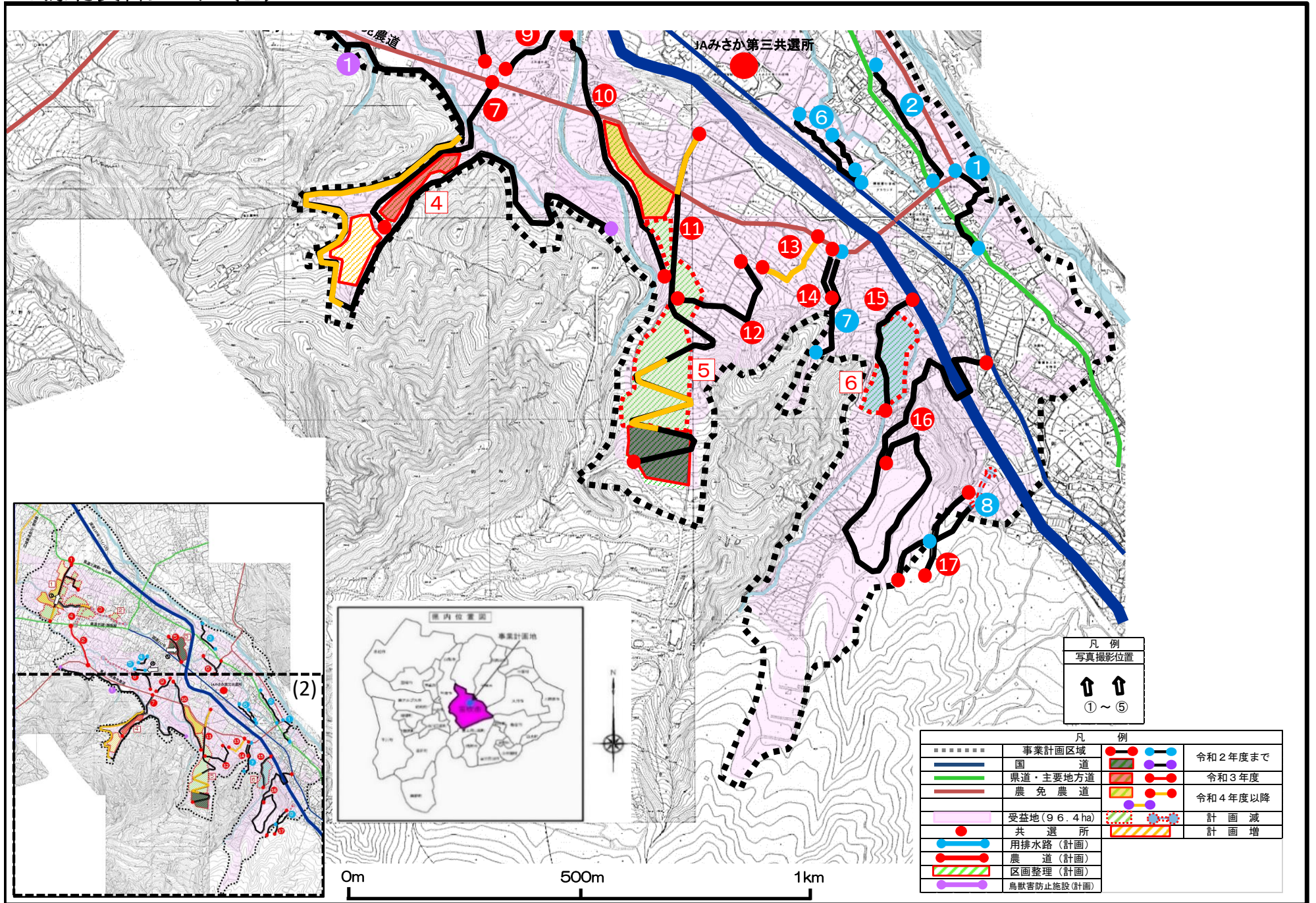


凡例
写真撮影位置
①~⑤

凡例	
.....	事業計画区域
——	国道
——	県道・主要地方道
——	農免農道
■	受益地(96.4ha)
●	共選所
——	用排水路(計画)
——	農道(計画)
——	区画整理(計画)
——	鳥獣害防止施設(計画)
●	令和2年度まで
●	令和3年度
●	令和4年度以降
■	計画減
■	計画増



3. 添付資料シート (2)



3.添付資料シート (3)

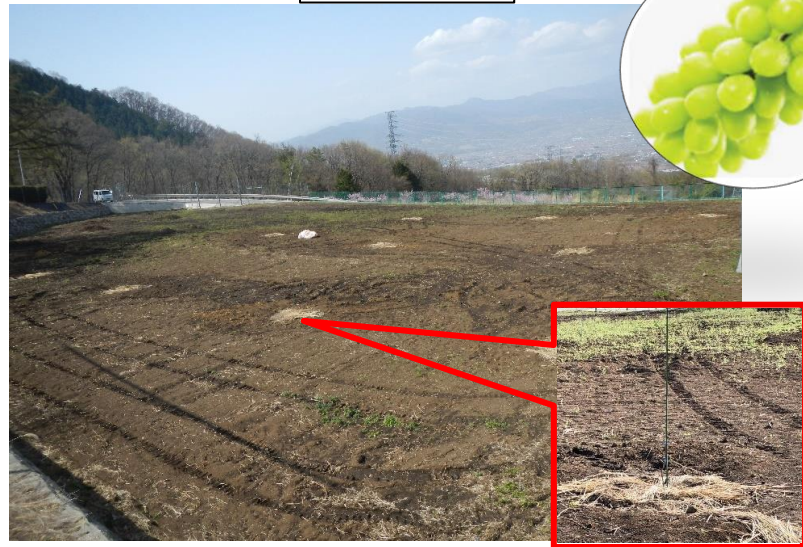
整備前



①区画整理



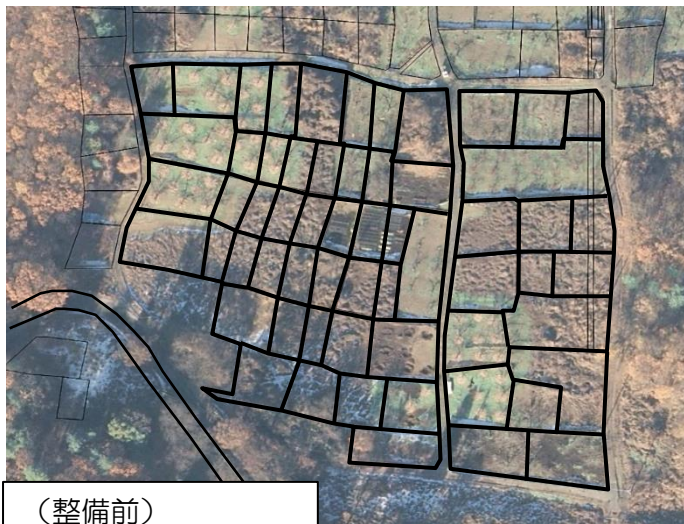
整備後



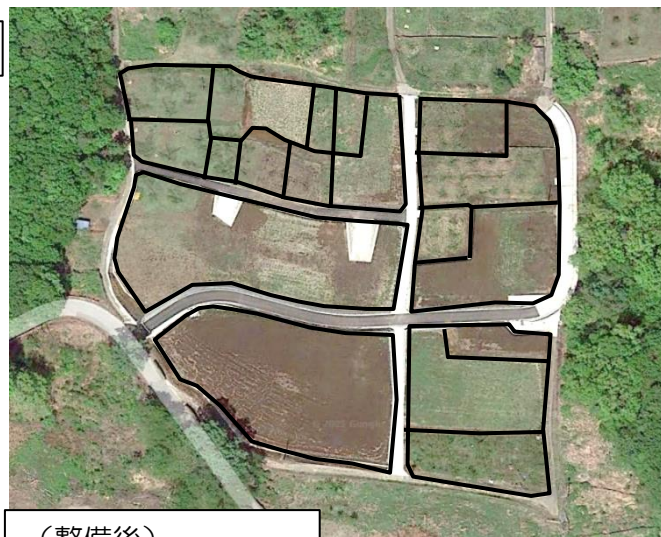
- 小区画で不整形なうえ、各所有者の土地が分散していることから営農環境が悪く、荒廃農地増加の原因となっていた。

- 整備により営農条件が改善され、シャインマスカット等の高収益作物への作物転換が促進された。

区画整理



(整備前)
地区面積：A=1.7ha
筆数：66筆



(整備後)
地区面積：A=1.7ha
筆数：18筆

3. 添付資料シート (4)

③ 農道の整備

整備後



道路幅が広くなり、通作や集出荷の効率化により、営農条件が改善された。舗装により荷傷みが防止され、果樹の品質確保が図られた。

整備前



幅員2.0m



整備後



幅員4.0m

狭小のため車両の乗り入れが困難かつ河川への転落の危険性があった。また、未舗装のため荷傷みが発生していた。

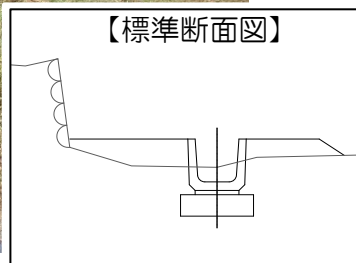
農道整備により、車両の安全な走行が確保されるとともに車両のすれ違いが可能となり通作や集出荷の効率化による営農条件が改善された。

④ 用排水路の整備

整備前

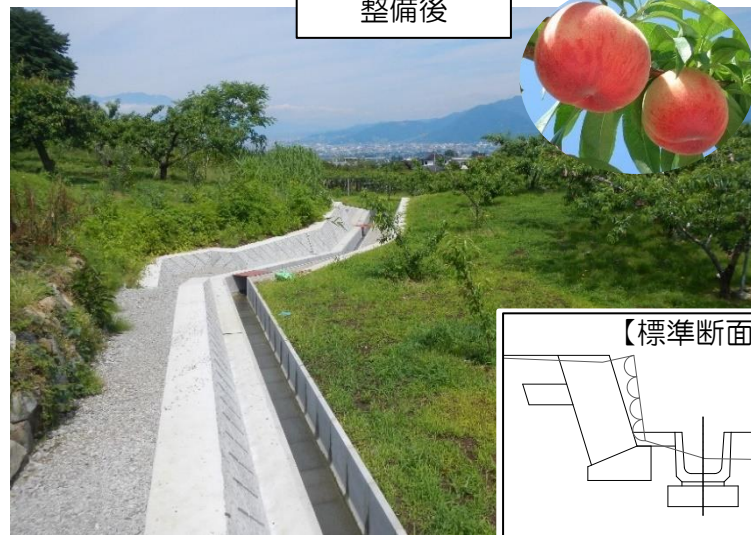


【標準断面図】

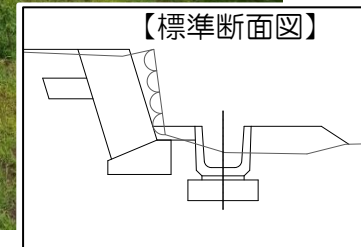


既設石積みを利用する計画であったが、石積みの老朽化が著しく、新たに土留構造物が必要になり事業費が増となった。

整備後



【標準断面図】



排水路の整備により湿害が解消され農作物の品質が向上するとともに、維持管理の労力が軽減されている。

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H23	42,000	測量設計 一式	1.6%
H24	378,000	農道 L=1,141m	16.5%
H25	220,500	農道 L=242m、用排水路 L=36m	25.1%
H26	262,500	農道 L=1,072m	35.4%
H27	316,079	農道 L=1,711m、用排水路 L=488m、 区画整理 A=1.7ha	47.8%
H28	126,000	農道 L=342m、用排水路 L=300m	52.7%
H29	147,000	農道 L=150m、用排水路 L=294m	58.5%
H30	249,900	農道 L=22m、用排水路 L=282m、侵入防止柵 L=1,988m	68.3%
R1	309,750	農道 L=691m、用排水路 L=237m、区画整理 A=1.0ha	80.4%
R2	157,500	農道 L=633m、区画整理 A=1.2ha	86.6%
R3	42,000	農道 L=130m、区画整理 A=0.6ha	88.2%
R4	210,000	農道 L=605m、区画整理 A=3.1ha	96.4%
R5	90,771	農道 L=588m、侵入防止柵 L=758m、換地業務 一式	100.0%
合計	2,552,000		